



ナスとシシトウの味噌炒め

材料（2-3人分）

ナス ……中2本
シシトウ ……10本
砂糖 ……大さじ1
味噌 ……大さじ1
酒 ……大さじ1
みりん ……大さじ1
すりごま ……適量
ごま油 ……適量

作り方

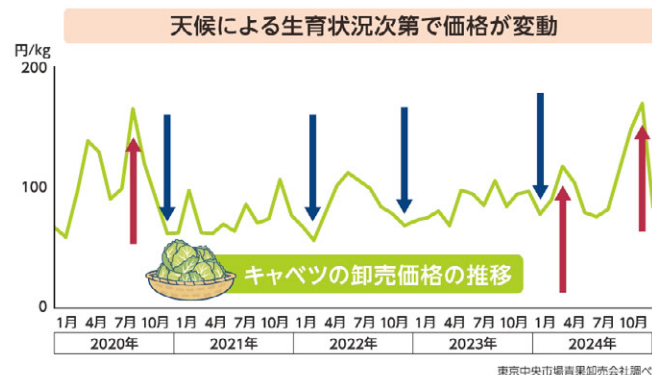
- ①ナスは乱切りにし、シシトウはヘタを取る。
- ②砂糖、味噌、酒、みりん、すりごまを混ぜておく。
- ③フライパンにごま油を熱して、シシトウとナスを炒める。
- ④ナスに油が回ったら、合わせた調味料を加えて、全体になじむまで炒める。



天候に価格が左右されやすい野菜。 安定供給に向けた取り組みを進めています。

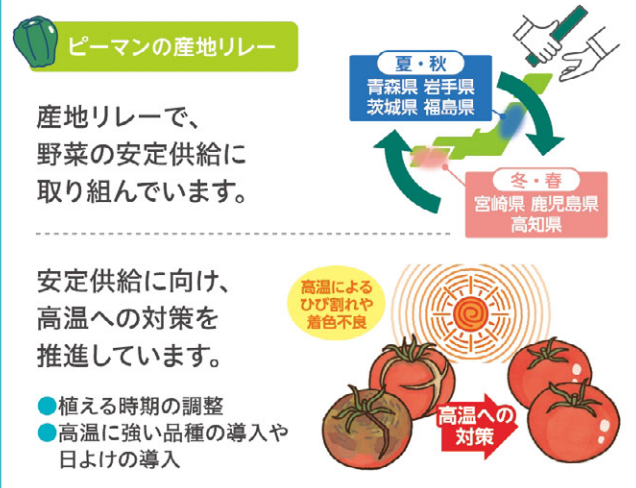
野菜の価格が変わりやすい理由

生産量や品質が天候に左右されやすく、保存が難しい。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

JAグループの取り組み



みえのまんなか

magazine

2025
夏
vol.16

JAみえなか郷土資料館で
「昔の暮らし」を
学びませんか？



Quiz & Present

問題



JAみえなか郷土資料館には4つの展示室があります。
「生活用具」「歴史」「農林業」とあと1つはどれでしょう？

- ①養蚕・製糸
- ②郵便
- ③鉄道

SNSで最新情報を発信中！



Instagram



LINE



Facebook



YouTube

昔の暮らしの足跡をたどる

JAみえなか郷土資料館。

今回は地域の文化を知る

貴重な展示についてご紹介します。



WEBサイト



次回の発行は秋の予定です。お楽しみに！

郷土資料館は、「生活用具」「歴史」「養蚕・製糸」「農林業」の4つの部屋に分かれています。



1 生活用具の展示室

昭和時代の生活の様子がうかがえるよう、部屋の一部を再現しています。台所用品やおもちゃ、井戸のくみ上げポンプなど、様々な道具をご覧ください。



2 歴史の展示室

地域の文化財や、暮らしの中で大切に守り伝えられてきた歴史や文化に触れます。リアルな模型や、図表、写真を中心に展示しています。



入り口では古墳の2/3模型がお出迎え！

「昔の暮らし」を学びませんか？

JAみえなか郷土資料館で

3 養蚕・製糸の展示室

かつて、一志町では養蚕業が盛んに行われていました。展示室ではその歴史や技術の変遷をわかりやすく紹介しています。また、絹で作った豪華な花嫁衣裳もご覧いただけます。



4 農林業の展示室

農作業の機械化が始まるころまで使われていた作業道具の一部をご覧ください。

繭で作った珠のれんががお出迎えしてくれます。



津市一志町にあるJAみえなか郷土資料館は、昭和60年5月に当時の一志町農協が20周年記念事業の一環として昔の暮らしの足跡を残すために開館。そして平成17年12月に農業倉庫を改修して、新たな資料館としてスタートし、現在に至ります。

また平成13年1月には「三重のまんなか・まちかど博物館」に指定され、年間多くの方にご来館頂いています。昔にタイムスリップができる「郷土資料館」に足を運んでみませんか？

他にもこんな活動をしています

蚕の飼育展示 ※令和7年の飼育展示は終了しています

一志町でかつて盛んだった養蚕業の歴史を現代に伝えるため、「一志町歴史語り部の会」が中心となり、毎年蚕の飼育展示を行っています。令和7年は5月17日に掃立て(卵から羽化した蚕の移し替え作業)を行い飼育開始。6月1日から6月22日まで飼育展示を行いました。蚕の飼育展示は全国的に見ても非常に珍しく、県内外から毎年たくさんの方が見学に訪れています。



なつやすみ子どもイベント

昔の遊び道具で実際に遊んでみたり、郷土資料館内の展示室で学ぶなど、たくさんの方で楽しんでいただけます。夏休みの自由研究にピッタリかも？



工作もできるよ！



郷土資料館について

- 開館日／毎週土曜日(学校や団体の場合は平日要予約で見学いただけます。)
- 開館時間／9:30~16:00
- 所在地／津市一志町高野1204-1
- お問い合わせ先
企画部 企画広報課 TEL:0598-28-8822 (平日8:30~17:00)

※展示スペースや保管倉庫の都合により、現在展示品の引き取りは行っておりません。

お待ちしております！



地域ボランティアガイド「一志町歴史語り部の会」



郷土資料館の情報はInstagramアカウントをチェック ▶▶▶

